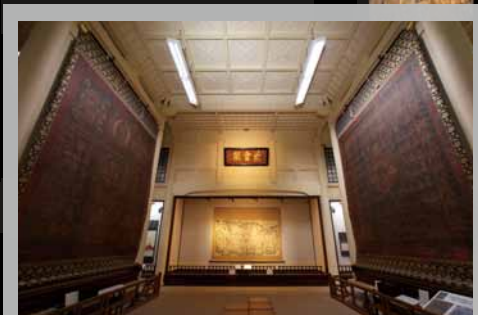




密教アート の世界

高野山は山上の正倉院と例えられるほど貴重な密教美術品に満ちている。密教においてこれらアートは難解な教えを分かりやすく表現するものとして非常に重要なものである。その中でも霊宝館には、数多くの国宝・重要文化財が収蔵されている。また、山上の至るところでも、アートに出会うことができる。1200年という長い歴史を経て今も語り続けるものたち。それらにも全て「いのち」が宿っている。



霊宝館
霊宝館は単なる展示施設ではなく、貴重な文化財の収納庫であり信仰のための参拝所でもある。また本館自体が平成10年に登録有形文化財に指定されている。

住所 / 伊都郡高野町高野山306
電話 / 0736-56-2029
<http://www.reihokan.or.jp/>

霊宝館の設立に奔走する!

高野山開創以来、全山を焼き尽くすような4度の大火災や落雷による火災などで、多くの仏画や仏像が消失した。また明治の廃仏毀釈でも多くの文化財が毀損と流出の危機に見舞われた。そんな中、「日本の鉄道王」と呼ばれ、大阪と高野山を結ぶ南海電鉄高野線開通の礎を築いた「根津嘉一郎」が霊宝館設立に尽力したといわれている。当時、日本最大の財閥であった三井や、後に総理大臣となった高橋是清など多くの協力者と共に、私財を投入し、また資金集めに奔走。発案からおよそ10年後の大正10年に開館した。

宝を守れ!
霊宝館
設立物語



制多迦童子像(国宝)
せいたかどうじぞう
運慶作と伝えられる八大童子立像のうちの一尊。その眼差しからは、凛爽として非常に理知的な印象を受ける。
(高野山金剛峯寺蔵)

矜羯羅童子像(国宝)
こんがらどうじぞう
穏やかで親近感のある表情が特徴。八大童子立像の中で、制多迦童子像とならんで運慶の作風が最もあらわされていると評される。
(高野山金剛峯寺蔵)

諸尊仏龕(国宝)
しよそんぶつがん
空海が惠果和尚から託され唐から持ち帰った伝えられるもので、七世紀頃の作。
(高野山金剛峯寺蔵)



血曼荼羅
ちまんだら
曼荼羅とは密教における仏の悟りの境地や世界観などを視覚的・象徴的に表したもので、胎藏界曼荼羅と金剛界曼荼羅を合わせて「両界曼荼羅」と呼ぶ。高野山に伝わる「血曼荼羅」は、平清盛が自身の頭の血を絵具に混ぜて描かせたと伝わる。
(高野山金剛峯寺蔵)



1200年の時を経てもなお、 形を変えて存在するもの 高野山カフェ in 丸の内



今年で4回目の開催となった高野山カフェ。今年度は8月30日から9月8日の10日間、丸の内ハウスで開催された。高野山の僧侶たちがお経に旋律をつけて唱える「声明ライブ」や僧侶と語り合う「僧侶と語るナイト」、本格的な写経体験や丸の内ハウスオリジナル精進料理など、東京に居ながら高野山を感じつつプチ修行を積めると大盛況。

プチ修行であっても ホンモノの高野山。



“人々の幸せを願う”という1200年変わらない空海の想いをそのままに、仏法を広める真面目な活動を現代風に楽しくアレンジしたのがこのイベントの特徴だ。「首都圏の皆様が高野山の魅力を知っていただき、2015年に開創1200年を迎える現地にも、是非足を運んでいただきたい」とイベントを主催する南海電鉄の石井光次さんは語った。



毎年好評を
いただいで
います



高野山は密教の聖地ではありますが、お寺だけでなく、多くの人が暮らす山上の町です。宿泊には宿坊もおすすめ。是非お越し下さい。

